

2021 年度 公益社団法人神奈川県社会福祉士会
横浜支部（横浜市社会福祉士会）
全体会



日時：2021 年5月30日（日）15：30～16：00

オンライン開催

2021 年度 公益社団法人神奈川県社会福祉士会
横浜支部（横浜市社会福祉士会）
全体会資料

1. 次第

- (1) 2020 年度活動報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・P.2
- (2) 2020 年度地域連絡会活動報告・・・・・・・・・・P.2
- (3) 2020 年度会計報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・P.7
- (4) 2021 年度活動計画・・・・・・・・・・・・・・・・・・P.8
- (5) 2021 年度地域連絡会活動計画・・・・・・・・・・P.10
- (6) 2021 年度予算・・・・・・・・・・・・・・・・・・P.13
- (7) 2021 年度幹事・・・・・・・・・・・・・・・・・・P.14

2. 参考資料

- (1) 支部組織及び運営規則・・・・・・・・・・・・・・・・P.15
- (2) (公社) 神奈川県社会福祉士会横浜支部地域連絡会の設置等に関する確認事項
P.17
- (3) 神奈川県社会福祉士会横浜支部（横浜市社会福祉士会）のあゆみ・P.19
- (4) 横浜支部ロゴマーク及びキャラクター・・・・・・・・P.20
- (5) 2021 年度地域連絡会のご案内・・・・・・・・・・P.21

1. 次第

(1) 2020 年度活動報告

2020 年度活動報告（月別）

4月	・27日（月）幹事会（オンライン）	10月	・26日（月）幹事会（オンライン） ・「福祉のしごとフェア」相談員派遣 ・らくらく市（港北区）中止 ・区民まつり参加（港北区）オンライン開催
5月	・25日（月）幹事会（オンライン） ・31日（日）全体会（中止） ホームページで20活動計画・予算 及び19活動報告・決算を公開	11月	・14日（土）「倫理カフェ」開催 ・16日（月）幹事会（オンライン） ・区民まつり参加（青葉区）中止
6月	・22日（月）幹事会（オンライン）	12月	・21日（月）幹事会（オンライン）
7月	・27日（月）幹事会（オンライン）	1月	・25日（月）幹事会（オンライン） ・30日「先輩社会福祉士に聞く」研修
8月	・24日（月）幹事会（オンライン）	2月	・20日（土）ハグミィサロン（港北区） オンライン開催 ・22日（月）幹事会（オンライン） ・地域連絡会交流会（インター連絡会）中止
9月	・5日「倫理カフェ」開催 ・28日（月）幹事会（オンライン）	3月	・6日（土）臨時幹事会（オンライン） ・22日（月）幹事会（オンライン）

コロナ禍でもオンラインで聞けます！話せます！

オンライン 福祉倫理カフェ



社会福祉士だからこそ抱くモヤモヤ、理不尽さを共有し、社会福祉と倫理学の研究者の手引きで読み解いていきます。



日頃、介護や育児などで参加できなかった人も
ラジオ感覚で聞くだけの参加もOKです！！

第1回

09

終了しました

13:00～15:00

導入編 「現場の葛藤、語ってスッキリ！」

ケースワークの中のモヤモヤへの向き合い方、当事者と家族など対立した意見に対し判断に迷った時の考え方について、参加者から出た事例をもとに語り合います。
※講師による倫理的考慮のミニレクチャあり

第2回

11

14

13:00～15:00

具体編 「皆で考えよう、話そう！」

第1回に引き続き、参加者の聞きたいこと、話したいことを実現できる場として、開催します。聞いているだけでもOK、同じ思いの追体験、共感する話が聞けるかも!?

第2回からでも
参加できます！！

講師 西川 ハンナ氏 (創価大学 准教授)
蝶名林 亮氏 (創価大学 准教授)

定員 30名

対象 神奈川県社会福祉士会会員限定

申込方法
神奈川県社会福祉士会HP、
もしくはQRコードから申込
ください。(詳細は裏面)

申込フォーム



申込締切 令和2年11月5日(木)

お問い合わせ・申込先：公益社団法人 神奈川県社会福祉士会 事務局
【Email】web@kacsw.or.jp 【TEL】045-317-2045 【FAX】045-317-2046

2020年度は、オンライン研修で場づくり！！

神奈川県社会福祉士会横浜支部では、これまで3年間かけて「連続講座」として研修を実施してきましたが、2020年コロナ禍により、集合研修が行えなくなりました。そのような中でも、会員の中からは、「他の社会福祉士がどうしているのかなどを聞きたい、話したい」というニーズがありました。このことを講師の先生に相談したところ、オンラインでバスセッション(モヤモヤを出し合いながら語り合うの手法)を使って場づくりをしてみてもいいかなという提案を頂きました。

2017
蓄える編

2018
深める編

2019
活かす編

2020 コロナ禍
集合研修ができない！

「入会したけど、仲間作りができていない」「他の社会福祉士がどうしているのか?」「今、現場では何がおこっているのか?」「できることがないか?」



オンラインで場づくり

オンライン福祉倫理カフェ



オンラインアプリを活用した
双方向参加型の研修の実施

専門性の向上、
日々の実践に役立ちます！



申込の流れ

- ① 下記の神奈川県社会福祉士会HP、またはQRコードより、お申し込み下さい。

【パソコンから申込】
神奈川県社会福祉士会 HP
<http://www.kacsw.or.jp/>

【携帯から申込】
[QRコード]

※申込の際に頂いた個人情報については、本研修の目的以外では利用いたしません。

- ② 県社会福祉士会事務局より、参加手順などを記載したメールを送ります。
- ③ 研修当日、メールの記載に従い、ログインし参加してください。

※スマートフォンは画面が小さいため、パソコン(Webカメラ、マイク、スピーカーがあるもの)もしくは、タブレットを使用し、安定したネット環境での受講をおすすめします。

(2) 2020 年度地域連絡会活動報告

1) 北部地域連絡会（青葉区、都筑区、緑区を中心とした地域）

定例会：原則偶数月第3木曜日に実施 会場：青葉区福祉保健活動拠点

2020 年度活動報告

4月		10月	30日（金）定例会 内容：近状報告、研修について
5月		11月	
6月		12月	17日（木）定例会 内容：近状報告、次年度の幹事世話人の選出について
7月		1月	28日（金）定例会 内容：研修「引きこもりと生活困窮について」
8月		2月	
9月	24日（木）定例会 内容：近状報告	3月	29日（月）定例会 内容：次年度の活動決定、次年度の幹事世話人の決定

2) 港北区連絡会

定例会：原則偶数月第3木曜日 19：00～21：00 に実施

会 場：オンラインまたは港北区福祉保健活動拠点

2020 年度活動報告

4月	・16日（木）定例会…中止	10月	・ふるさと港北ふれあいまつり（オンライン開催）参加 ・らくらく市…中止 ・15日（木）定例会（オンライン）
5月		11月	・19日（木）定例会（オンライン）
6月	・18日（木）定例会（オンライン）	12月	・5日（土）学習会…中止 ・17日（木）定例会（オンライン）
7月	・30日（木）定例会（オンライン） ※以降毎月オンライン開催に変更	1月	・21日（木）定例会（オンライン）
8月	・20日（木）定例会（オンライン） ・22日（月）ふるさと港北ふれあいまつり説明会出席	2月	・20日（土）ハグミィサロン（オンライン開催） ・28日（木）定例会（オンライン） 内容：今年度の振り返り及び次年度計画 他
9月	・17日（木）定例会（オンライン）	3月	・18日（木）定例会（オンライン） 内容：今年度の振り返り及び次年度計画 他

3) 鶴見区連絡会

定例会：毎月第3月曜日 18：30～21：00 に実施 会場：鶴見区福祉保健活動拠点

2020 年度活動報告

4月		10月	19日 重層的支援体制整備事業について
5月		11月	30日 認知症～横浜市の計画～
6月		12月	21日 近況報告
7月		1月	18日 民族差別問題について
8月		2月	15日 成年後見に関する事例検討
9月	28日 多文化理解について	3月	15日 食事・栄養について

4) 中部地域連絡会（神奈川区、西区、中区を中心とした地域）

定例会：毎月不定期実施 会場：オンラインにて開催

2020 年度活動報告

4月	中止	10月	中止
5月	中止	11月	11月20日（金）定例会 近況報告
6月	中止	12月	12月27日（日）定例会 近況報告・情報交換
7月	中止	1月	休会
8月	休会	2月	2月28日（日）ぱあとなあ地区会
9月	中止	3月	3月27日（土）定例会 東日本大震災から10年 社会福祉士として防災を考える

5) 南部連絡会

(南区、港南区、磯子区、金沢区、栄区、戸塚区を中心とした地域)

定例会：偶数月第1金曜 19:00~21:00 に実施 会場：桜道コミュニティハウス

2020年度活動報告

4月	17日オンライン連絡会 24日ビデオチャット	10月	9日対面予定も台風でオンラインに切替え
5月	4日オンライン連絡会	11月	6日オンライン連絡会
6月		12月	4日オンライン連絡会
7月		1月	15日オンライン連絡会
8月	7日オンライン連絡会	2月	19日オンライン連絡会
9月	4日オンライン連絡会	3月	19日オンライン連絡会

6) 西部地域連絡会 (保土ヶ谷区、瀬谷区、旭区、泉区を中心とした地域)

定例会：毎月原則第3木曜 18:30~20:30 実施 会場：旭区市民活動支援センター (みなくる)

2020年度活動報告

4月	定例会中止	10月	10月17日(土) みなくるにて開催 定例会：近況報告
5月	5月9日(土) オンライン 【ばあとなあ】近況報告	11月	11月21日(土) みなくるにて開催 【ばあとなあ】事例報告
6月	6月18日(木) オンライン 【ばあとなあ】近況報告	12月	12月17日(木) オンライン 【ばあとなあ】事例報告
7月	7月16日(木) オンライン 【ばあとなあ】近況報告	1月	1月21日(木) オンライン 【ばあとなあ】近況報告
8月	8月20日(木) オンライン 定例会：近況報告	2月	2月18日(木) オンライン 定例会：「倫理綱領の改正について」
9月	9月5日(土) みなくるにて開催 倫理カフェ視聴、【ばあとなあ】近況報告	3月	3月18日(木) オンライン 【ばあとなあ地区会】近況報告

(3) 2020年度会計報告

2020年度
公益社団法人神奈川県社会福祉士会横浜支部会計報告書
(横浜市社会福祉士会)

収入の部

(単価：円)

科 目			予算額	決算額	説 明	
款	項	目				
1 交付金			343,169	343,169		
	1 交付金		343,169	343,169		
		1 支部活動費		243,169	243,169	県士会より
		2 支部公益事業活動費		100,000	100,000	県士会より
	2 補助金		0	0		
1 補助金			0	0		
2 寄附金			0	0		
	1 寄附金		0	0		
		1 寄附金		0	0	
3 諸収入			30,000	3		
	1 諸収入		30,000	3		
		1 事業収入		30,000	0	
		2 雑収入		0	3	利息
4 繰越金			156,831	156,831		
	1 繰越金		156,831	156,831		
		1 繰越金		156,831	156,831	前年度繰越
収入合計			530,000	500,003		

支出の部

(単価：円)

科 目		予算額	決算額	説 明
旅費交通費				
通信運搬費		0	1,650	郵便代等
消耗品費		34,000	380	コピー用紙等
印刷製本費		105,000	140	コピー代等
委託費		30,000	30,000	新キャラクター・チラシデザイン
賃借料		0	11,700	研修配信会場利用料
諸謝金		180,000	80,000	講師謝礼
支払負担金		20,000	0	区民まつり出店料
支払手数料		7,000	1,430	振込手数料等
支出合計		530,000	125,800	
繰越金			374,703	

(4) 2021 年度活動計画

2021 年度 公益社団法人神奈川県社会福祉士会 横浜支部（横浜市社会福祉士会）活動計画

2002 年 11 月 17 日（日）、横浜市開港記念会館に 80 名を越える横浜の社会福祉士が結集し、公益社団法人神奈川県社会福祉士会 横浜支部（横浜市社会福祉士会）が誕生しました。そして、同日の交流の場で、「より地域に密着した活動」「顔の見える関係作り」を進めようとの思いから、各区・地域の仲間が集まり、横浜支部の特徴的な取り組みの一つである「地域連絡会」活動が始まりました。

2021 年度の横浜支部は、この間の支部の歩みを大切にしつつも、コロナ禍にある現在、これまでの取り組み・スタイルにとらわれない自由な発想を持ち、「いま会員が求めていることは何か」「いま地域で何をやるべきか」を考え活動していきます。そこで、下の 3 つの基本方針（地域支援、事業企画、情報発信）を掲げました。

社会福祉士は市民生活の応援団といえます。困難な状況にある今、一層、地域に心を寄せることの出来るソーシャルワーカー集団としての「横浜支部」の歩みを、一緒に創っていきましょう。

◆基本方針 1【地域支援】双方向性を重視し、地域の福祉に貢献します

会員と共に社会福祉士として地域の福祉に寄与するために必要な取り組みを考え、進めます。そのため、地域連絡会の活動等を通じて会員の想いが支部運営に反映される双方向性を重視します。なお、コロナ禍にある現在、状況把握に努め、当面はオンラインを活用した運営を積極的に進めます。

取り組み：地域連絡会活動等への人的・物的支援、地域連絡会交流会（インター連絡会）の開催、地域の会合や「区民まつり」等地域イベントへの参加、基礎研修 I 協力「福祉のしごとフェア」協力

◆基本方針 2【事業企画】社会福祉士同士が支え合い、育ち合う仕組み作りを進めます

横浜支部では「人と人のつながり」を通じて、「人から人へ伝えていくこと」を大切にしてきました。この想いを大切にしつつ、下記の取り組みを通じて、社会福祉士の「専門性」や「独自性」等について語り合い、考え合う場を持つと共に、仲間意識の醸成に寄与するような取り組みを進めます。また必要な取り組みを創出します。なお、コロナ禍にある現在、当面はオンラインを活用した取り組みを進めます。

取り組み：学習会の開催、ハグミプロジェクトの推進、気軽な立ち寄り処「ハグミサロン」開催、「先輩社会福祉士に聞く」研修の開催、県士会組織向上委員会企画協力

◆基本方針 3【情報発信】支部活動の広報を進め、社会福祉士の魅力を発信します

地域連絡会の活動や、支部主催の研修、幹事会の様子、ハグミプロジェクトの進捗状況などをタイムリーに会員に紹介し、横浜支部全体の活動の「見える化」を進め、会員が支部活動に参加しやすくなる環境作りを進めます。また、市民への PR を積極的に行い、社会福祉士また支部活動への理解を促します。

取り組み：連絡会・活動報告・幹事会報告をブログ・フェイスブック・会員用メーリングリストで発信、ハグミプロジェクトの進捗をインスタグラム等で紹介、県士会広報への研修情報等掲載、研修・イベント等で支部活動紹介、支部パンフレットの更新

●2021 年度活動計画（月別）

4月	・26日（月）幹事会	10月	<ul style="list-style-type: none"> ・25日（月）幹事会 ・「福祉のしごとフェア」 ・地域バザー参加（港北区） ・区民まつり参加（港北区）
5月	<ul style="list-style-type: none"> ・24日（月）幹事会 ・30日（日） 全体会（オンライン開催） 	11月	<ul style="list-style-type: none"> ・22日（月）幹事会 ・区民まつり参加（青葉区） ・基礎研修Ⅰ
6月	・28日（月）幹事会	12月	・27日（月）幹事会
7月	・26日（月）幹事会	1月	<ul style="list-style-type: none"> ・24日（月）幹事会 ・「先輩社会福祉士に聞く」研修
8月	・23日（月）幹事会	2月	<ul style="list-style-type: none"> ・28日（月）幹事会 ・地域連絡会交流会（インター連絡会）
9月	・27日（月）幹事会	3月	・28日（月）幹事会

○当面の間、幹事会はオンライン開催とします。

○学習会や会員の気軽な立ち寄り処「ハグミイサロン」も開催する予定です。

(5) 2021 年度地域連絡会活動計画

1) 北部地域連絡会（青葉区、都筑区、緑区を中心とした地域）

定例会：原則偶数月第3木曜日に実施 会場：青葉区福祉保健活動拠点

2021 年度活動計画

4月	22日(木) 定例会 内容：オンライン研修、近状報告	10月	28日(木) 定例会 内容：青葉区区民祭準備、近状報告、情報共有
5月		11月	3日(火) あおば区民祭り参加 会場：青葉区役所
6月	24日(木) 学習会 内容：新しい社会福祉士養成課程	12月	23日(木) 定例会 内容：次年度の活動構想、区民祭振り返り、懇親会
7月		1月	
8月	26日(木) 内容：青葉区区民祭準備（内容、役割分担決定、申し込み）、近状報告、情報共有	2月	27日(木) 定例会 内容：次年度の活動決定
9月		3月	

2) 港北区連絡会

定例会：原則毎月2木曜日 19：30～21：00 に実施

会 場：オンラインまたは港北区福祉保健活動拠点

2021 年度活動計画

4月	・8日(木) 定例会(オンライン) 里親制度の普及啓発のために	10月	・14日(木) らくらく市
5月	・13日(木) 定例会(オンライン) 「コロナ禍下の女性相談の実相」 ・30日(土) 全体会	11月	・11日(木) 定例会(オンライン) 「発達障害者の就労支援について」
6月	・10日(木) 定例会(オンライン) 全体会講演会の意見交換	12月	・9日(木) 定例会(オンライン) 「旬の話題」
7月	・8日(木) 定例会(オンライン) 「入管法について」	1月	・13日(木) 定例会(オンライン) 「アルク事業説明を中心に…」
8月	・12日(木) 定例会(オンライン) 「災害時要援護者支援について」	2月	・10日(木) 定例会(オンライン) 「児家センの役割・課題」
9月	・9日(木) 定例会(オンライン) 「法人型障害者地域活動ホームの 日中活動について」	3月	・10日(木) 定例会(オンライン) 次年度検討

3) 鶴見区連絡会

定例会：毎月第3月曜日 18：30～21：00 に実施 会場：鶴見区福祉保健活動拠点

2021 年度活動計画

4月	19日 新型コロナウイルス事業所対応	10月	18日 定例会
5月	17日 定例会	11月	15日 定例会
6月	21日 定例会	12月	20日 定例会
7月	講演会実施予定	1月	17日 定例会
8月		2月	21日 定例会
9月	27日 定例会	3月	28日 定例会

※講演会については、7月～8月に実施の方向で調整中。

4) 中部地域連絡会（神奈川区、西区、中区を中心とした地域）

定例会：当面オンラインにて実施

2021 年度活動計画

4月	4月24日（土）ぱあとなあ地区会	10月	10月23日（土）ぱあとなあ地区会 ※予定
5月	5月23日（日）定例会 成年後見を主なテーマとした自由懇談会	11月	11月28日（日）定例会 ※予定
6月	6月27日（日）ぱあとなあ地区会 ※予定	12月	12月26日（日）ぱあとなあ地区会 ※予定
7月	7月25日（日）定例会 ※予定	1月	1月29日（土）ぱあとなあ地区会 ※予定
8月	休会	2月	未定
9月	9月25日（土）定例会 ※予定	3月	未定

※予定は変更になる可能性があります。詳しくはホームページ等でご確認ください。

5) 南部地域連絡会

(南区、港南区、磯子区、金沢区、栄区、戸塚区を中心とした地域)

定例会：当面オンライン 原則毎月第1金曜 19:30~21:00 に実施

2021 年度活動計画

4月		10月	倫理 CAFE
5月	7日 連絡会	11月	私の職場紹介
6月	オンライン講習会	12月	
7月	私の職場紹介	1月	私の職場紹介
8月		2月	
9月	連絡会自慢	3月	次年度計画

6) 西部地域連絡会 (保土ヶ谷区、瀬谷区、旭区、泉区を中心とした地域)

定例会：毎月原則第3木曜 18:30~20:30 実施 会場：旭区市民活動支援センター (みなくる)

2021 年度活動計画

4月	4月15日(木) 18:30~20:00 定例会	10月	※予定 10月21日(木) 定例会
5月	5月15日(土) 14:00~16:00 【ばあとなあ地区会】事例報告	11月	※予定 土曜午後開催 【ばあとなあ地区会】
6月	6月17日(木) 18:30~20:00 【ばあとなあ地区会】	12月	※予定 12月16日(木) 【ばあとなあ地区会】
7月	7月15日(木) 18:30~20:00 【ばあとなあ地区会】	1月	※予定 1月20日(木) 【ばあとなあ地区会】
8月	※予定 8月19日(木) 定例会	2月	※予定 2月17日(木) 定例会
9月	※予定 9月16日(木) 【ばあとなあ地区会】	3月	※予定 3月17日(木) 【ばあとなあ地区会】

(6) 2021 年度予算

2021年度
公益社団法人神奈川県社会福祉士会横浜支部 (横浜市社会福祉士会)
予算

収入の部

(単価:円)

科 目		予算額	説 明
款	項 目		
1	交付金	125,297	
	1 交付金	125,297	
	1 支部活動費	25,297	県士会より
	2 支部公益事業活動費	100,000	県士会より
	2 補助金	0	
	1 補助金	0	
2	寄附金	0	
	1 寄附金	0	
	1 寄附金	0	
3	諸収入	30,000	
	1 諸収入	30,000	
	1 事業収入	30,000	研修受講料
	2 雑収入	0	
4	繰越金	374,703	
	1 繰越金	374,703	
	1 繰越金	374,703	前年度繰越
収入合計		530,000	

支出の部

(単価:円)

科 目	予算額	説 明
旅費交通費	82,000	研修スタッフ・幹事交通費
通信運搬費	55,000	
消耗品費	37,000	文具代、広報用物品代
印刷製本費	119,000	資料、広報チラシ印刷代
委託費	30,000	デザイン委託料
諸謝金	180,000	講師謝礼
支払負担金	20,000	区民まつり出店料
支払手数料	7,000	振込手数料
支出合計	530,000	
差し引き	0	

(7) 2021 年度幹事

2021・2022 年度（第7期） 横浜支部幹事名簿

	氏名	役職	連絡会	ひとこと
1	江原顕	支部長	港北区	一昨年、防災士を取得しました。コロナや災害に負けないよう、地域や人の繋がりを進めたいです。
2	一色茂雄	副支部長	鶴見区	コロナ禍において研修をオンラインになりましたが、どう仲間づくりをするかも取り組んでいきます。
3	尾形淳子	副支部長	南部	県士会は組織向上委員会、広報委員会、多文化 SW 委員会に所属しています。
4	坂元正樹	副支部長	北部	これまでの業務で培ってきた経験を活かし、諸活動に取り組んで参ります。
5	中島礼子	会計	西部	多様な人が集う横浜が気に入り、住み始めて 28 年。成年後見を中心に様々な仕事をしています。
6	松下圭一	幹事	港北区	入会していつの間にか 19 年…こども家庭分野に従事。現在、県士会では組織向上委員会にオブ参加。
7	佐藤永弘	幹事	鶴見区	鶴見区で高齢福祉分野に従事しています。県士会は選挙管理委員会、倫理委員会に所属しています。
8	小島貴美子	幹事	西部	様々な方々の社会復帰のお手伝いをしながら、地域におけるネットワークの重要性を認識しています。
9	佐藤みゆき	幹事	北部	横浜北部地区の社会福祉士の拠点作りを目標に取り組んでいきたいと思ひます。
10	谷川謙	幹事	中部	様々な方々と出会い、日々勉強させていただいています。
11	徳田千春	幹事	南部	還暦になりました、第二の人生が始まりました。やりたいこといろいろあります！
12	坂本菜々	幹事	南部	今年度より微力ながら皆さまとの出会いの糸を紡いでいければと思ひますので宜しくお願ひ致します。
13	日向明	幹事	南部	試験合格以来、広報一筋！任務推敲中！

参考資料（１）

支部組織及び運営規則

（趣旨）

第1条 この規則は、公益社団法人神奈川県社会福祉士会（以下「本会」という。）定款第3条の目的及び第60条支部組織規定に基づき、より県民に近い地域で行うことが望ましい公益事業等を行うために支部の設置並びに運営に関して必要な事項について定めることを目的とする。

2 本会は、会員が、情報交換、県民のニーズの把握及び共有、支援に必要な専門知識及び技術の向上のために必要な事項について定めることを目的とする。

（目的）

第2条 支部は、第4条に定める区域を単位として本会会員の組織化、県民のニーズの共有、情報交換、研鑽をすすめることにより、身近な地域で活動できる場を作り、地域福祉の向上に寄与することを目的とする。

（事業）

第3条 支部は、定款第4条に定めるうち、身近な地域で展開することが望ましい事業を実施する。

- （１）支部内の社会福祉の援助を必要とする市民の権利擁護及び生活の向上に関すること。
- （２）県民の権利擁護及び地域福祉に対する意識の向上（啓発）に関する事業
- （３）支部内県民への社会福祉に関する知識及び技術の普及に関すること。
- （４）他の福祉専門団体、医療機関等への知識・技術の提供及び協力・連携に関すること。
- （５）支部内会員の資質の向上のための研修会等、会員の研鑽に関すること。
- （６）会員間の情報の共有及び協力・連携に関すること。
- （７）その他支部内で必要と思われる事業。

（支部の設置）

第4条 支部は複数の市町村を単位とし、その構成は別表とする。

- （１）横浜支部
- （２）川崎支部
- （３）相模原市部
- （４）横須賀・三浦支部
- （５）湘南東支部
- （６）湘南西支部
- （７）県央支部
- （８）西湘支部

2 支部設置は、所属する会員数、機能性、地域性等を勘案し、より効果的に活動することが行えるように支部の改編をする。

（支部会員）

第5条 支部は、区域内に住所を有する本会員をもって、組織する。ただし、届け出により勤務地により所属を変更することができる。

- 2 支部会員は、本会会員として承認された時から支部に所属する。
- 3 県外在住会員については、勤務地の支部に所属する。

（支部役員）

第6条 支部には次の幹事を置く。

- | | |
|-----------------|-------|
| （１）支部長 | 1名 |
| （２）副支部長 | 1～3名 |
| （３）会計 | 1～2名 |
| （４）幹事 | 5～10名 |
| （５）その他支部長が認めるもの | 若干名 |

- 2 幹事は、以下の方法で選任し、理事会の承認の後、会長が委嘱する。
- (1) 支部長は、支部会員の中から選出するものとする。
 - (2) 幹事は、支部会員の中から選出するものとする。
 - (3) 副支部長及び会計は、支部長が幹事の中から指名するものとする。

(職務)

第7条 支部長は、支部を代表し、支部の事業・運営を統括する。

- 2 副支部長は、支部長を補佐し、支部長が職務を遂行できない状況に陥った時、その職務を代行し職務を行う。
- 3 幹事は、幹事会を構成し、支部の事業を推進する。
- 4 会計は、支部会計を適正に執行する。

(任期)

第8条 支部幹事の任期は、2年とする。ただし、再任を妨げないが、連続4期を越えることはできない。

(会議及び役割)

第9条 支部の会議は以下の通りとする。

(1) 支部全体会

- ア 事業計画及び予算
- イ 事業報告及び決算報告
- ウ 幹事の選出
- エ その他支部の重要事項

(2) 支部幹事会

- ア 事業計画・予算の立案
- イ 事業運営(計画実施に必要な調整等)にかかわる事項
- ウ その他支部活動にかかわる事項

(3) その他

(会計)

第10条 支部の経費は、本会活動費及び参加費、寄付金によってまかなう。

- 2 支部の事業計画及び予算案は、その内容を本会理事会に提出し、理事会でその承認を得るものとする。

(支部活動費)

第11条 支部活動費は、「共通基本額」にほか、事業規模、会員数などを勘案した「活動奨励費」によって構成され、支部活動支援事業費の予算の範囲内で支部に交付するものとし、交付額については、公益社団法人神奈川県社会福祉士会支部活動費交付細則(以下「支部活動費交付細則」という。)で定める。

2 第3条第7号の事業において、公益性が高いと理事会において判断された場合、その事業計画・予算に基づき「共通基本額」及び「活動奨励費」とは別に支部活動支援事業費の予算の範囲内でその経費を交付するものとし、交付額については、支部活動費交付細則で定める。

3 支部活動計画及び予算案は、前年度、理事会で定められた期日までに本会へ提出するものとする。

4 支部活動費の清算(決算)報告は、毎年4月10日までにを行うものとする。

(改廃)

第12条 この規則の改廃は、理事会の決議による。

附則

- 1. この規則は、2013年4月1日から施行する。
- 2. この規則は、2017年10月15日から施行する。

2013年5月26日制定

2017年10月15日改訂

別表

支部名	市町村名
横浜支部	横浜市
川崎支部	川崎市
相模原支部	相模原市
横須賀・三浦支部	横須賀市 三浦市 鎌倉市 逗子市 葉山町
湘南東支部	藤沢市 茅ヶ崎市 寒川町
湘南西支部	平塚市 秦野市 伊勢原市 大磯町 二宮町
県央支部	綾瀬市 厚木市 大和市 海老名市 座間市 愛川町 清川村
西湘支部	小田原市 南足柄市 大井町 中井町 松田町 山北町 開成町 箱根町 真鶴町 湯河原町

※県外在住の会員は、その勤務先あるいは最も住所地に近い支部に所属するものとする

（公社）神奈川県社会福祉士会横浜支部地域連絡会の設置等に関する確認事項

1. （公社）神奈川県社会福祉士会横浜支部（以後、「横浜支部」）について

（１）設立

2002年11月17日（日）、横浜市開港記念会館に80名を越える社会福祉士が結集し、（公社）神奈川県社会福祉士会横浜支部（横浜市社会福祉士会）の設立が宣言されました。

当面の目標として、

- 横浜支部の組織率を向上させ、支部としての組織固めを図ります。
- 横浜市あるいは区単位の身近な地域で活動できる基盤整備を行います。
- 横浜支部としての地域特性を生かした事業を県社会福祉士会、県他支部との連携を図りながら行います。

が、総会で確認されました。

※当日の様子はこちらを参照してください。

⇒<http://www.asahi-net.or.jp/~zi8y-SD/yaesw/yaesw1.html>（現在閲覧不可）

（２）横浜支部の活動目的（HP より）

横浜市内を活動範囲として、社会福祉における相談援助の専門職である「社会福祉士」の持っている知識や技術等を地域福祉の促進に向けて提供し、貢献することを目的として活動しています。

高齢・児童・障害・生活保護等様々な分野で働く社会福祉士が地域の住民の方々と共に安心して暮らし続けることの出来る地域づくりに取り組んでいます。

2. 横浜支部地域連絡会（以後、「連絡会」）の設立

横浜支部が設立された同日、連絡会も設立されました。これは横浜支部の「当面の目標」にある「横浜市あるいは区単位の身近な地域で活動できる基盤整備を行います」の目標に基づいたものです。

この時、鶴見区、港北区、栄区などが、「社会福祉士同士が地域で顔の見える関係を作ろう」「悩みや学びを共有しよう」と、まず先行して連絡会活動を開始しました。その後、「区単位での活動は現状難しいが、でも仲間が集える、学び合える場がほしい」との会員の声を受け、「ブロック単位」の連絡会が設立されました。

3. 連絡会活動が目指すもの

以下の通りとなります。

- 会員同士が顔の見える関係を作る
- 社会福祉士として必要な学びや交流を深める
- 地域の諸団体と積極的に関わることで、社会福祉士および社会福祉士会の活動への理解を促進する
- 社会福祉士会への加入促進を促し、仲間を増やす。

4. 連絡会の設置や活動のめやす

連絡会活動は横浜支部の活動です。社会福祉士会の会員相互の学びと交流を保障する場であるとともに、これから社会福祉士を目指す方の参加を保障する、オープンな活動が求められます。そこで、連絡会の設置や活動にあたり、下記の点をめやすとします。

(1) 設置

- ① 3名以上の設立発起人（会員）がいること ※現在、在勤・在住は問いません
- ② 横浜支部幹事会との連絡役を置き、事前折衝が行われていること
※連絡先：横浜支部専用Eメール hamajimu@hotmail.co.jp
- ③ オープンな連絡会運営を目指していること
- ④ 活動計画を作成していること

(2) 活動

- ① 横浜支部幹事会に「幹事」を1名以上派遣すること
役割としては、連絡会と横浜支部幹事会とのパイプ役です。
連絡会の「想い」や「要望」などを横浜支部幹事会に届けるとともに、横浜支部幹事会での会議内容等を連絡会会員に伝え、情報の共有化を図ります。
横浜支部全体と連絡会、相互の活動がより活発になることを目指しています。
- ② 連絡会内で役割分担を決めること
連絡会を組織的に活動していくために必要となります。
例) 「地区社会福祉協議会への加入」「地区の区民祭りへの参加」「他団体との共同の企画」などの取り組みを進めるためには、「役員体制」とまでは言いませんが、連絡会の中で「世話人（窓口担当）」などの役割は決めておく必要があります。
- ③ 活動の拠点を定めること
連絡会活動の基本は身近な地域で、会員相互また地域の諸団体との関係を深めていくことにあります。また、社会福祉士を目指す人、新たに連絡会活動に参加しようとの思いを持つ人たちとのつながりを作ることも大きな役割です。このため「集いやすい場所」の確保は大切なこととなります。
例) 各区社会福祉協議会（福祉保健活動拠点）、
障害者地域活動ホーム（地域交流室）
ケアプラザ（各種貸室）
地区センター（貸室）など
- ④ 定期的に活動を行うこと
定期的に活動を行うことで、会員相互の関係を深めるとともに、地域における社会福祉士の取り組みの周知にもつながります。また、社会福祉士を目指す人、新たに連絡会活動に参加しようとの思いを持つ人たちとのつながりの場となります。
- ⑤ 支部の予算を使う場合には、年間2万円以内をめやすとして、横浜支部幹事会と協議すること

(3) 活動の休止

連絡会活動は横浜支部の活動計画に位置づけられた活動です。やむを得ず休止する際には、以下のようになります。

- ① 休止について、連絡会内で複数の会員で議論する
- ② 横浜支部幹事会にて報告し、適宜、協議を行う

2016年2月8日 横浜支部幹事会にて確認

参考資料（3）

神奈川県社会福祉士会横浜支部（横浜市社会福祉士会）のあゆみ

- 1993年 県士会県内4ブロックに分け地区活動推進する方針（川崎と地区活動へ）
- 1994年 阪神大震災募金活動
- 1995年 横浜地区・川崎地区分かれて活動へ
- 2001年 支部活動検討
- 2002年 横浜支部（横浜市社会福祉士会）設立 初代須田支部長就任
- 2003年 ホームレス夜間街頭相談 港北区連絡会活動開始
- 2003年～2006年 つるふく（鶴見区連絡会）・南部地域連絡会活動開始
- 2006年 劇団かもめ座、中野地域ケアプラザにて上演
- 2007年 第2代菅野支部長就任
- 2008年 日本社会福祉士会全国大会神奈川大会特別分科会 成年後見劇実施
西部地域連絡会活動開始
- 2009年 中部地域連絡会活動開始
- 2010年 「たまひよクラブ」開始（2015年より県士会組織向上委員会事業）
- 2011年 東日本大震災 たきがしら一時避難所にて生活相談実施
- 2013年 第3代徳田支部長就任
- 2012年 「支部間交流 BBQ 大会」開始（2015年より組織向上委員会事業）
- 2015年 第4代中島支部長就任
- 2016年 青葉区連絡会活動開始 横浜支部連絡会交流会開始
- 2017年 第5代島田支部長就任
- 2018年 横浜支部キャラクター「ハグミィ」誕生
- 2019年 第6代松下支部長就任
北部地域連絡会活動開始（青葉区連絡会合流） 「たまひよユース」開催
ハグミィプロジェクト「チャレンジ・ド・コンサート」出場
- 2020年 新型コロナウイルス感染症拡大
オンラインによる活動継続（幹事会、研修会、ハグミィサロン）
- 2021年 第7代江原支部長就任

参考資料（４）

1) 横浜支部ロゴマーク

支部ロゴマークは 2002 年 11 月、横浜市社会福祉士会（神奈川県社会福祉士会横浜支部）設立時に作られました。

作者は血液の難病を患いつつも、ネット上ですぐれたホームページを制作する青年でした。

横浜支部の依頼を受け、港・かもめ・船・いかり・操舵をイメージした、マリンブルーのさわやかなロゴマークを作り上げて 6 日目、青年は脳溢血で倒れ、これが遺作になってしまいます。

しかし作者自身、納得のいくものが出来たと話していたこのロゴマークは、横浜の会員たちに愛され、今でも大切に使われています。



2) 横浜支部キャラクター

2018 年春に誕生した、横浜市社会福祉士会（公益社団法人神奈川県社会福祉士会横浜支部）のキャラクターです。1 年がかりの公募と投票と準備を経て、2018 年 5 月 20 日の全体会でお披露目となりました。

色とりどりのハートが国際都市横浜の多様性を表し、そのハートでできているハグミィは、多様性を尊重するハマの福祉を象徴しています。そしてカモメをギュッと抱きしめて、福祉のあたたかさを表現しています。

今、ハグミィは様々な場所に登場して、社会福祉士会の活動や社会福祉士の仕事を紹介しています。とかく“見えにくい”“分かりにくい”と言われる社会福祉士ですが、ハグミィは子どもにも分かりやすく、だれにでも親しみやすく、PR をしています。

またハグミィは、ロゴマークとともに横浜市社会福祉士会のシンボルとなっています。ハグミィを目印に会員が集い、楽しく活動できるようにする、そんな役割も担っています。



参考資料（5）

2021 年度地域連絡会のご案内

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う国の緊急事態宣言を受け、神奈川県社会福祉士会では今年度中の集合形態による事業を実施しないことを決定しました。横浜支部としては「こんな時だからこそ、会員間のつながりを大切にしたい」との思いから、現在、オンラインによる「つながりの場」「交流の場」（例えば「たまひよオアシス」）を作ろうと鋭意準備を進めています。各連絡会でもメーリングリストや各種SNSツールを活用した「つながりの場」「交流の場」作りを進めています。



神奈川県社会福祉士会横浜支部（横浜市社会福祉士会）では、身近な地域で顔の見える関係づくりを行うために、地域連絡会を設置しています。横浜市全区への設置を目指していますが、現在は、他の区と合同で地域連絡会の活動を行っている地域もあります。

地域連絡会は、支部幹事会と連携を図りながら活動しています。

地域連絡会への参加は、興味のあるテーマがあれば、在住在勤にかかわらず、ほかの地域の地域連絡会に参加することができます。なお、研修会等、定員の管理が必要な場合は事前に募集チラシ等でご案内しますが、そうでなければ、特に連絡なく参加していただいて構いません。ぜひご参加ください。

詳しくは、神奈川県社会福祉士会ホームページやフェイスブック、ブログでご確認ください。